重要保管 本紙では、お買い上げいただいた製品についての仕様を記載しております。
ご覧いただいた後も大切に保管してください。

本製品をお買い求めのお客様へ

◎型名・型番について

このたびは本製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品は LL750/MG をベースに企画されたモデルです。
本製品に添付のマニュアル等では型名・型番を下記の通り読み替えてください。

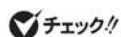
	マニュアル等での表記	本 製 品
型 名	LL750/MG	LL750/MG2J
型 番	PC-LL750MG	PC-LL750MG2J

◎本体仕様一覧ついて

添付のマニュアル『準備と設定』－付録－「仕様一覧」の項目は、次のように読み替えてご覧ください。

		マニュアルでの記載	本 製 品
型名		LL750/MG	LL750/MG2J
型番		PC-LL750MG	PC-LL750MG2J
インテル® ターボ・メモリー		―	1GB
ドライブ	ハードディスクドライブ	約 160GB (Serial ATA、5,400 回転/分)	約 160GB (Serial ATA、高速 7,200 回転/分)
FeliCa ポート		内蔵	―
消費電力	標準/最大	約 32W/約 75W	約 34W/約 75W
エネルギー消費効率 (2007 年度省エネ基準達成率)		I 区分 0.00040(AAA)	I 区分 0.00041(AAA)

◎インテル® ターボ・メモリーについて

本製品は、Windows VistaのReadyBoost機能およびReadyDrive機能に対応しています。
ReadyBoost機能は、フラッシュメモリを一時記憶装置として利用し、ハードディスクへのアクセス頻度を抑え、操作性やプログラムの応答性を向上させる機能です。ReadyDrive機能は、Windows Vistaの起動ファイルを、比較的読み書きが高速なフラッシュメモリに記憶し、起動時にフラッシュメモリから読み出すことでWindows Vistaの起動時間を短縮する機能です。
このパソコンには、インテル® ターボ・メモリーおよびハードディスクに関するユーティリティとして「Intel® Turbo Memory コンソール」と「Intel® Matrix Storage Console」がインストールされています。

チェック!!
- ご購入時の状態では、ReadyBoost機能およびReadyDrive機能は有効に設定されています。
- 「Intel® Turbo Memory コンソール」を削除すると、インテル® ターボ・メモリーの機能が使用できなくなります。誤って「Intel® Turbo Memory コンソール」を削除してしまった場合は、この後の「Intel® Turbo Memory コンソールの再インストール」をご覧になり、再インストールしてください。
- インテル® ターボ・メモリーの交換については、ご購入元またはNECにご相談ください。また、インテル® ターボ・メモリーを交換した場合は、「「Intel® Turbo Memory コンソール」の再インストール」をご覧になり、「Intel® Turbo Memory コンソール」を再インストールしてください。
- 初回起動後ハードディスクを交換した場合は、インテル® ターボ・メモリーが正常に動作しない場合がありますので、この後の「「Intel® Turbo Memory コンソール」の再インストール」をご覧になり、「Intel® Turbo Memory コンソール」を再インストールしてください。

853-810924-124-A

■「Intel® Turbo Memory コンソール」について

「Intel® Turbo Memory コンソール」は、インテル® ターボ・メモリーの状態確認や、ReadyBoost機能やReadyDrive機能を有効または無効に設定するソフトです。

チェック!!
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
- 「Intel® Turbo Memory コンソール」を使用する場合は、管理者（Administrator）権限を持ったユーザーでおこなってください。

●インテル® ターボ・メモリーの状態確認

インテル® ターボ・メモリーの状態確認は次の手順でおこないます。

1 「スタート」－「すべてのプログラム」－「Intel® Turbo Memory」－「Intel®Turbo Memory コンソール」をクリックする

「Intel(R) Turbo Memory コンソール」画面が表示されます。

2 「情報」の表示で確認する

「情報」には次の情報が表示されます。

- ReadyBoost機能の有効／無効
  現在の、ReadyBoost機能の有効／無効の状態を通知します。
- ReadyDrive機能の有効／無効
  現在の、ReadyDrive機能の有効／無効の状態を通知します。
- 合計キャッシュサイズ
  インテル® ターボ・メモリーが使用しているNAND フラッシュメモリの合計キャッシュサイズを通知します。

チェック!!
- Windows起動後、インテル® ターボ・メモリーの状態が「Intel® Turbo Memory コンソール」に反映されるまで、時間がかかる場合があります。その場合は、「Intel® Turbo Memory コンソール」の「表示」メニューから「更新」をクリックして、表示を更新してください。
- インテル® ターボ・メモリーの状態が「保留」となっている場合、ReadyDrive機能をサポート可能かどうか、Windows Vistaが確認中です。

●インテル® ターボ・メモリーの設定の変更

インテル® ターボ・メモリーでWindow VistaのReadyBoost機能やReadyDrive機能を利用するかどうかの設定は、次の手順でおこないます。

チェック!!
- 手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されたら、画面の表示を見ながら操作してください。
- ご購入時の状態では、ReadyBoost機能およびReadyDrive機能は有効に設定されています。
- ReadyBoost機能およびReadyDrive機能を無効にすると、システムのパフォーマンスが低下する場合があります。なるべく有効のまま使用してください。
- ReadyBoost機能を有効にしている場合、「コンピュータの管理」の「ディスクの管理」に「NVCACHE」というディスクが表示されますが、これはインテル ターボ・メモリー上の領域を仮想ドライブとして動作させているためです。「NVCACHE」にドライブ文字を割り振るなど、ご購入時の状態から変更すると、インテル® ターボ・メモリーの動作が不安定になる場合があるので、このままの状態で使用してください。

1 「スタート」−「すべてのプログラム」−「Intel® Turbo Memory」−「Intel®Turbo Memory コンソール」をクリックする
「Intel(R) Turbo Memory コンソール」画面が表示されます。

2 「有効にするキャッシュ ポリシーを選択してください」で設定をおこなう
・「Windows ReadyBoostを有効にする」
□をクリックして☑にすると、ReadyBoost機能が有効になります。
・「Windows ReadyDriveを有効にする」
□をクリックして☑にすると、ReadyDrive機能が有効になります。

3 再起動を促すメッセージが表示されたら、画面の指示に従って再起動する

●「Intel® Turbo Memory コンソール」の再インストール

「Intel® Turbo Memory コンソール」を誤って削除してしまった場合や、インテル® ターボ・メモリーを交換した場合は、次の手順で、「Intel® Turbo Memory コンソール」を再インストールしてください。

1 「スタート」−「すべてのプログラム」−「アクセサリ」−「ファイル名を指定して実行」をクリックする

2 「名前」欄に「C:¥DRV¥TurboMemory¥TurboMemory_All.exe」と入力し、「OK」をクリックする
以降の操作は、画面の指示に従ってください。

3 インストールが完了したら、再起動する

■「Intel® Matrix Storege Console」について

「Intel® Matrix Storage Console」で、ハードディスクの状態を確認できます。
「Intel® Matrix Storage Console」を使用する場合は、管理者（Administrator）権限を持ったユーザーでおこなってください。

チェック!! ・手順の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、画面の表示を確認し操作してください。

●ハードディスクの状態確認

ハードディスクの状態の確認は次の手順でおこないます。

1 「スタート」−「すべてのプログラム」−「Intel® Matrix Storage Manager」−「Intel® Matrix Storage Console」をクリックする
「Intel(R) Matrix Storage Console」画面が表示されます。

2 「表示」メニューから「詳細」モードを選択する

3 左側の表示エリアの「ハードドライブ」配下に表示されるドライブから、状態を確認するハードディスクをクリックする

4 「情報」の表示でハードディスクの状態を確認する

液晶ディスプレイについて

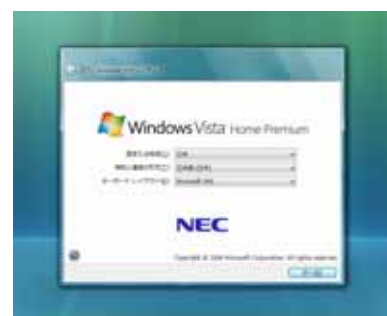
液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※（ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点）が見えることがあります。
また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
※：社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を添付マニュアルの仕様一覧に記載しております。ガイドラインの詳細については、以下のWEBサイトをご覧ください。

「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

パソコンに電源を入れるときのご注意

●初回起動時のご注意

初めてパソコンの電源を入れるときは、必ず添付のマニュアル**『準備と設定』**をご覧ください。
別売の周辺機器はまだ接続しないでください。セットアップが正常に終了できないことがあります。また、バッテリ駆動可能なパソコンであっても、セットアップが完了するまでACアダプタを抜かないでください。

電源スイッチを押すと数分後に「Windows のセットアップ」画面（右画面）※1 が表示されます。その間、一時的に(約 1～3 分程度)画面表示が真っ暗な状態が続くことがあります。これは故障ではありませんので、**絶対に電源を切らないでください。**
また、セットアップ完了までには、約30～50分かかります(モデルにより時間が異なります)。その間にも自動的に再起動したり、真っ暗な状態が続くことがありますが、電源を切ったりせずに、そのままお待ちください。

最終的に「ウェルカムセンター」画面（右画面）※1 が表示されます。これでセットアップは完了です。次回からパソコンの電源を入れると、1～2 分後にはいつもこの画面が表示されるようになります。
※1：表示される画面は、モデルにより若干イメージが異なります。

●通常の起動時のご注意

電源を入れたり、再起動した直後は、デスクトップ画面が表示された後も、**ハードディスクのアクセスランプが点滅しなくなるまで何もせずお待ちください**※2。起動には 2 分～5 分程度かかります。
※2：ハードディスクのアクセスランプが点滅している間は Windows が起動中です。無理に電源を切ったり、アプリケーションを起動したりすると、動作が不安定になったり、処理が重複して予期せぬエラーが発生することがあります。
電源を切る場合は、添付のマニュアル『準備と設定』をご覧の上、「スタート」メニューから電源を切ってください。

再セットアップについて

本機では、パソコンをご購入時の状態に戻す方法としてハードディスクから再セットアップする方法を採用しています。この方法は、下記の再セットアップディスクから再セットアップする方法より手順も簡単で比較的短時間で再セットアップができます。

パソコンをご購入時の状態に戻す方法として、ご自分で作成した再セットアップディスクから再セットアップする方法もあります。

この方法は、お客様が市販の DVD-R／DVD+R 媒体または CD-R 媒体をご用意し、それを使って再セットアップディスクを作成した上で、その再セットアップディスクで再セットアップする方法です。

また、作成済みの再セットアップディスクの販売もしています。

再セットアップの方法や再セットアップディスクの作成、購入先については添付のマニュアル**『パソコンのトラブルを解決する本』**の再セットアップに関する項目をご覧ください。

●再セットアップおよび再セットアップディスク作成時の注意

- 別売の周辺機器(メモリーカード、プリンタ、スキャナなど)をすべて取り外してマニュアル**『準備と設定』**の「電源を入れる前に接続しよう」で取り付けた機器のみ接続している状態にしてください。

USB/IEEE1394/PC カードスロット/メモリースロットにハードディスクなどを接続したままやメディアをセットしたまま再セットアップをおこなうと、ハードディスクやメディアのデータが削除されることがあります。また、再セットアップが途中で止まってしまうことがあります。再セットアップが途中で止まってしまった場合は、接続されている機器がないか、メディアがセットされていないか再度確認し、それらがあった場合は、機器を取り外したり、メディアを取り出してください（再セットアップが続行されます）。

- 電話回線ケーブルや LAN ケーブルがつながっている場合は取り外してください。ワイヤレス LAN がある場合はオフにしてください。

●もしものときに備えて

本機には、再セットアップディスクは付属していません。ハードディスクが故障したりハードディスク内にある再セットアップ用データを消去した場合、ハードディスクから再セットアップすることができなくなります。

そのような場合に備え、再セットアップディスク※3 を作成しておくことをお勧めします。

※3: 再セットアップディスクは、ご購入時の製品構成以外では作成できないことがあります。ご購入後、なるべく早い段階での作成をお勧めいたします。